

科学者委員会 学術体制分科会（第25期・第8回）

議事要旨

1. 日時 令和4年6月1日（水）13:00～15:00

2. 会場 オンライン会議

3. 出席者

吉村委員長、橋本副委員長、佐々木幹事、小林（博）、山田、伊佐、石塚、小林（武）、望月、梶田、萩田、菱田、光石、中西、川名

（参考人）内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 阿蘇隆之審議官 他

（事務局）松室参事官

（欠席）北川幹事、吉田、伊藤

4. 議事

1) 前回議事要旨の確認

- ・資料1に基づき、第7回議事要旨について特段の意見なく承認した。

2) 経済安全保障重要技術育成プログラムに関する追加説明について（参考人 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 阿蘇隆之審議官）

- ・資料2に基づき、阿蘇審議官から経済安全保障重要技術育成プログラムの制度に関する進捗状況について、直接説明を受けた。

（以下資料に沿って説明）

- ・阿蘇審議官からの説明に対して、阿蘇審議官に加えて内閣府科学技術・イノベーション推進事務局の担当者を交え、質疑応答及び意見交換を行った。

3) 研究インテグリティに関する今後の審議の進め方及び意思の表出について

- ・資料3に基づき、委員長及び事務局から、「研究インテグリティに関する論点整理」の改訂に向けて、今後議論すべきポイント例について説明があり、意見交換を行った。新たな論点等について追加の意見がある場合は、1週間をめどに事務局へ連絡することとなった。
- ・委員長より、「論点整理」の改定を行った上で、第25期中に何らかのかたちで意思の表出を行うことについて発言があり、意見交換を行った。

4) その他

- ・事務局より、JST/CRDSから発刊された「オープン化、国際化する研究における研究におけるインテグリティ2022」、及びこれに関連するJST/CRDS-OECD合同ワークショップ「研究インテグリティと研究セキュリティ」について紹介があった。

資料：

資料1 第7回議事要旨（案）

資料2 経済安全保障重要技術育成プログラムの進捗状況について

資料3 「研究インテグリティに関する論点整理」の改訂に向けて

参考資料1 科学者コミュニティからの研究インテグリティに関する論点整理

参考資料2 英国 ガイドライン（日本語）

参考資料3 豪州 ガイドライン（日本語）